

平成 28 年度事業計画

【事業方針(案)】

当協会は長年に亘り、「環境技術会誌」の発行、事例研究発表会や中央研究集会・セミナーの開催、廃棄物処理施設技術管理者等継続学習認定制度（以下、技術管理者 CPDS という。）の創設等、技術管理者等の資質と社会的地位の向上に取り組み、廃棄物処理施設の安全で安定的かつ効率的な施設管理に貢献すべく活動をしている。

昨年度は上記の事業に加え、ホームページを刷新し、会員に対してメールマガジンのバックナンバーの公表、調査研究及びセミナー等の講演資料を閲覧できるようにするとともに、大規模災害時の対応等、時代に即応した技術管理者の役割の拡充・強化を環境省に要望を行った。また、当協会から循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰の推薦を行った。

本年度は会員等へのサービス強化のために、重点事業として、以下のような事業や表彰制度の拡充を図ることとする。

【重点事業（案）】

① 会員の増強

- ・技術管理者講習会において、当協会案内パンフレット、「環境技術会誌」等を置くなど、会員の増強を促進する。
- ・技術管理者講習修了者に対して、廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度（以下、技術管理者 CPDS という。）への申込書を配布するなど、技術管理者 CPDS とリンクした会員増強策を実施する。
- ・会員のメリット向上のため、新たに協会ホームページ「会員のページ」に協会誌のバックナンバー掲載について検討する。
- ・廃棄物処理関連団体に対し、賛助会員または団体会員入会の勧誘を行う。

② 技術管理者等 CPDS の実施

- ・技術管理者講習修了者に対して、技術管理者 CPDS 案内パンフレットを配布し、参加者の増強に努める。
- ・当協会独自の称号については、本年度で CPDS を開始して 5 年目になるので、その基準を明確化し、所定の要件を満たした登録者に該当する称号を付与する。

③ 調査・研究の実施等

平成 27 年度継続事業「長期包括運営委託業務・PFI 事業に関する維持管理実態調査」については、報告書を年度当初に作成し、今後の施設運営管理と技術管理者の在り方を検討する。

【事業計画(案)】

1. 普及啓発事業

(1) 広報・出版活動

1) 「環境技術会誌」季刊発行(1月、4月、7月、10月)

本誌は、紙面の充実を図るとともに会員へのサービス向上を目的として、季刊の年4回に加え、必要に応じ増刊号1回の年5回の発行とする。

本年度は、新たに「廃棄物処理施設の安全管理」を特集テーマとして編集し、さらに技術管理者認定講習開始から50周年を記念として賛助会員企業の最先端技術の紹介コーナーを設ける。

また、本誌の論文としての価値を高め、会員の資質向上のために査読付きの投稿論文を募集する。

このように、本誌を通じて会員からの情報提供を得ながら、会員の資質向上と会員相互の情報交換の場となるように努める。

第163号(平成28年4月)

第164号(平成28年7月)

第165号(平成28年10月)

第166号(平成29年1月)

(主な記事)

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・専門委員会報告
- ・環境省等行政資料
- ・国内・海外の廃棄物関連情報

2) ホームページの運営

廃棄物情報の提供、会員との情報交流並びに当会の情報公開の場として運営を行う。

現在会員のページには平成27年度から廃棄物処理法入門コーナーに加え、新たに調査報告書、セミナー等の資料、メールマガジン等のバックナンバーを掲載している。今後、「環境技術会誌」バックナンバーの掲載等、会員にとって有益な情報を順次掲載して会員サービスに努める。

3) メールマガジンの配信

会員へのスピーディな情報発信のため、会員の希望者には毎月メールマガジンを配信する。

(2) 研修会・講習会の実施

1) 第37回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会(技術管理者 CPDS 認定)

本集会は本協会会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として、最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催する。

開催日:平成28年6月21日(火)、10時~16時

会場:連合会館

テーマ:①廃棄物処理行政の動向

環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部

②廃棄物処理施設技術管理者制度 50 周年記念シンポジウム

2) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上が技術管理者にとって重要である。

そこで、一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会の事業として、継続学習制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development System の略）を実施する。

この制度は、廃棄物処理施設の技術者が種々の講習会、研修会、講演会、シンポジウムなどの受講や活動成果の発表をした場合に、それらの学習記録を残し、必要により学習履歴を証明するシステムである。本年度は CPDS を開始して 5 年目になるので、所定の要件を満たした登録者には、当協会独自の称号を付与する。

3) 技術管理者 CPDS 認定「廃棄物処理施設技術管理セミナー」

当協会では、会員並びに技術管理者など廃棄物処理施設の維持管理に従事する方々のスキルアップのため、セミナーを開催する。

平成 28 年 1 月下旬～平成 29 年 2 月下旬、東京

4) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者 CPDS 認定）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施する。

福岡会場：平成 28 年 1 1 月

岡山会場：平成 28 年 1 1 月

(3) 第 1 1 回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会（技術管理者 CPDS 認定）

技術管理者の情報交換を行うため、以下の研究発表会等を開催する。

会 期：生活と環境全国大会（平成 28 年 10 月 26 日（水）～10 月 28 日（金））

事例研究発表会は平成 28 年 10 月 28 日

会 場：川崎市（川崎市産業振興会館、ソリッドスクエア）

内 容：廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会

(4) 各種表彰

1) 環境大臣表彰の推薦

循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰の推薦基準に基づき、当協会会員を推薦する。

2) 第 60 回生活と環境全国大会（平成 28 年度）大会長感謝状受領者の推薦

大会長感謝状の中央推薦団体として 2 名を推薦する。

贈呈式：第 60 回大会席上

3) 会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り、会の発展に尽力した会員に対して会長感謝状を贈呈する。

贈呈式：平成 28 年度廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会席上

贈呈者：運営部にて選考

4) 年間論文賞の表彰制度

会員からの環境技術会誌、支部会誌の投稿を対象とした優秀論文を表彰する。

この賞は年間論文賞審査委員会において選考し、運営部会で決定する。

委員：横田 勇、淡路宣男、河辺安男、杉山吉男、田所正晴

授賞式：（平成28年度廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会席上）

(5) 地区協議会活動への支援

1) 設立の支援

- ・地区協議会設立契機提供事業（出前事業）
- ・地区協議会設立の促進

2) 活動への支援（行事・講師派遣等）

2. 調査・研究事業

(1) 調査・研究事業

1) 長期包括運営委託業務・PFI 事業に関する維持管理実態調査(継続)

廃棄物処理施設の長期包括委託維持管理業務及びPFI 事業について、報告書を年度当初に作成し、今後の施設運営管理と技術管理者の在り方を検討する。

3. 技術支援事業

廃棄物処理事業者の方々に対して、本会の長年にわたる活動実績を活かし、廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術支援業務を実施する。

4. 事業推進のための会議等

(1) 第7回定時社員総会の開催

開催日：平成28年6月20日（月）、14時～16時

会場：連合会館

議事等：①平成27年度事業報告の件
②平成27年度収支決算の件
③平成28年度事業計画の件
④平成28年度事業予算の件
⑤国等への要望事項の件

注) 社員総会には、原則として会長、専務理事が出席・対応します。

(2) 理事会の開催

1) 第21回理事会

開催日：平成28年5月19日（木）、14時～16時

会場：連合会館

議事等：①平成27年度事業報告の件
②平成27年度収支決算の件
③国等への要望事項（案）の件

2) 第22回理事会

開催日：平成29年3月中旬～下旬

会場：連合会館（予定）

議事等：①平成29年度事業計画の件
②平成29年度事業予算の件
③平成29年・30年度の代議員選挙、役員の選出について

(3) 部会等の開催

1) 運営部会 年4回程度開催

議 題：①組織の運営・管理に関する事項

- ・事業計画、予算及び決算に関すること
- ・会員の増強に関すること
- ・地区技術管理者協議会の設置、育成、強化に関すること
- ②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
- ③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
- ④会員の表彰等の選考調整に関すること
- ⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

2) 編集委員会 年1回開催

議 題：①環境技術会誌の企画、編集に関すること

- ②刊行物に係る業務に関すること

3) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習制度運営委員会

議 題：①継続教育システムの検討

- ②教育内容の検討
- ③評価制度の検討

4) 廃棄物処理施設技術管理者等 CPDS 認定技術者試験委員会

議 題：①CPDS 認定技術者称号認定のための基本的事項の検討

5) 廃棄物処理施設技術管理者等 CPDS 認定技術者試験実行委員会

議 題：①称号認定試験の検討と実施

6) 長期包括委託による維持管理実態調査委員会

議 題：①調査結果の検討・報告書のとりまとめ

5. その他の事業

1) 「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

6. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行う。

①廃棄物団体連合会など関連団体

②第60回生活と環境全国大会（平成28年度）の協賛、その他関係団体の行事等の協力

7. 組織運営

(1) 財政の健全化

1) 入会促進

(一財)日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進する。また、廃棄物処理に関係する団体等に対しては、賛助会員の入会を促進する。

2) 新規事業の推進

継続学習制度、廃棄物セミナー及び廃棄物処理に関する技術支援業務等の推進を行う。

(2) 国等への要望行動等

技術管理者に関連する事項について、積極的に要望行動を行う。